

チェコのローカル線を訪ねて-2007-②

高島 伸幸

2007年10月18日(木)曇

朝食を食べてからチェックアウト。宿から駅まで少し遠いので、タクシーを呼んでもらい駅へ向かう。Valasske Mezircy 8:11発のスロバキアからの国際特急EC128レに乗車する。

5分遅れでやってきたこの列車には食堂車が付いている。しかしそのような車両は見当たらない。探すと1等車の半室が食堂になっており、片側にしか窓の無いこじんまりとした空間だった。ちょっと落ち着かず、コーヒーを1杯飲むと客室に戻った。

複線電化の幹線を進む。さすがに特急でスピードが速い。あっという間にOlomoucに6分遅れの9:15に到着した。

郵便局へ行き、9:55発3621レの発車するホームに向かうと、あの吊り掛け気動車が到着するではないですか。折返し運転かなあとちょっと期待しますが、機回しを必要とするため、車庫へ



EC128レ Olomoucにて

引き上げて行きました。残念。

車庫から出てきたのは、大型気動車がキサハを牽引する編成。この車には乗ったことが無かったので、これまたよしとしよう。5分遅れで発車。複線電化の路線から右に単線非電化路線として分かれて行き、こまめに乗客を降ろしてゆく。

畑の中を淡々と進む。車内は座り心地の良いBOXシートが並び、残念ながら電気式ではなく、液体式のようなだ。区間運転の終点の駅を過ぎると乗客が少なくなり、丘陵地を超えて行く。右手から第3セクター化された支線が合流するとSumperkに5分遅れの11:16に到着。

駅構内のパン屋さんで昼ごはんを購入し、ビールを片手に11:43発の3611レに乗り込む。レールバスを先頭にキサハとキハの編成。凸凹の編成が面白い。

2分遅れで発車。左手に車両工場を



3621レ Olomoucにて

見ながら本線方面の連絡線を右手に分岐する駅に停車。新型DCと接続交換を行って発車。川沿いの谷筋をさかのぼって行く。左手から本線からの三角線を合流すると前日も乗った路線に入る。

HanuSoviceに7分遅れの12:25に到着。交換列車はあの吊り掛け気動車がキサハを牽いていた。今まで乗っていた列車は後ろ2両を切り離し、1時間後に戻って行くようだ。ということはここから先はレールバス単行だ。

乗り換える12:20発の20068レはどれだ。前回乗ったもう一本の支線も発車するのでどのレールバスか分からない。それに構内を工事していて使える線路が少なくなっている。駅員に確認すると「ここで待て」とのこと。もう一本の支線のレールバスが発車すると、どこからともなく単行のレールバスが現われ、「これに乗れ」と指示があった。少ない乗客が乗り込むとすぐに発車。しかし7分の遅れとなった。溪谷の谷筋を登って行く。先発した支線の分岐点を左に取り、ぐんぐん登る。峠の頂上のCerveny Potokで短編成の貨物列



3611レ Sumperkにて

車と交換し、こんどは畑の中の坂を下りてゆく。Dolni Lipkaに5分遅れの12:54に到着した。

駅員が乗り換え客を駅舎の外に案内するので、ちょっと変だなあと思うとこれまた1台のバスが駅前に停まっています。「これに乗れ」とのこと。

定刻より5分遅れの12:56に代行20010レは出発。センターラインのある地方道を走る。次のLichkovはポーランドからの路線が合流する国境駅。駅構内は見事にレールがはがされ、バラストの交換中。これでは列車は走れない。途中も保線工事の真っ最中。

この先は駅と道路が離れているらしく、バスが停車する場所の道端に係員



20068レ Dolni Lipkaにて



代行バス

が立っていて、乗降の確認をしていた。Jablonne nad Orlicíの駅脇の道路で停車。ここで列車に乗換えとのこと。

道路を横断し、レールバスがトレーラーをぶら下げた列車に乗り換える。無人駅にひとつ停まると終点のLetohradに5分遅れの13:29に到着した。

構内には数列車が停車していて、車掌に行き先を確認してから乗り込む。Sp1954レは7分遅れの13:34に発車した。DCがDC牽引仕様の赤とクリームのツートンカラーの客車を2両牽引している。途中駅では対向の快速を待ち合わせる。相手はDL牽引の客車列車だった。

途中から架線が現われ、ジャンクションのHradec Kralove hl.n.に13分遅れの15:07に到着した。乗り換えの5526レは既に発車時間が過ぎているが、発車ホームに向かうと列車が据え付けられたところで乗客が群がっている。

10分遅れの15:10に発車。DCがDC牽引仕様の客車を1両牽引している。買い物帰りのおばさんや学生で車内は一杯だ。

単線のローカル線で、畑の中を右に



Ostrožnáにて



Letohradにて

左にカーブしながらゆっくり進む。たまに集落が現われ、少しずつ乗客が減ってゆく。途中から小学生の団体が先生の引率で乗車して来て、車内は賑やかに。

路線が交差するOstrovに5分遅れの16:00に到着。構内踏み切りを中央に各方面の列車がそれぞれ並んでいてきれいだ。低いホームには行き先板が立てられていて分かりやすい。

Sp1873レはまた5分遅れの16:04にそれぞれの方面と同時発車した。こんどはスピードを上げて山を巻きながら勾配を上がってゆく。数名の学生が乗車しており、ちょっとした集落のあるNova Paka Mestoで降りていった。

乗換え駅のStara Pakaにまた5分遅れの16:31に到着。5路線のジャンクションでレールバスやDL牽引のトレーラーなど扇形になった構内の各所に列車が停車している。

乗り換えのR990レは駅舎の向こう側のホームに到着するとの事。キハ+キサハ+キクハの編成になったDCが到着した。

5分遅れの16:36に発車。先ほど乗

車してきた列車も、しばらく同方向に併走する。次第に高低差をつけるとあちらは谷沿いにカーブして行く。面白かったのは、分かれてゆく場所付近にそれぞれ駅がある。

山を越え、溪谷沿いに進む。平野に出たTurnovを出るとだんだん高度を上げ山越えをする。結構標高は高いようで、もう冬のように寒い。勾配を下るとLiberecに17:58に到着した。

トラムが走る駅前通りの坂を下り、事前に調べておいたインペリアルホテルに投宿。名前は立派だがかなり年季が入ったホテルで、設備が古い。社会主義時代の遺産のようだ。

夕食はトラム・バスターミナルを下調べするために中心街へ。なかなかの人出でにぎわうレストランでビールも食事もおいしい。

2007年10月18日(金)曇

ホテルで朝食を取り、部屋に荷物を置いたまま中心街のトラム・バスターミナルFugnerova Terminal MHDへ。駅前付近の線路は3線軌になっていて、



Jablonec n.N. Tyrsovy sadyにて



R990レ Turnovにて

郊外区間の狭軌車両が市内に乗り入れることができる。

窓口で1日乗車券を買ってから郊外へ向かう2両連結の11系統に乗り込む。しかし、市外へ向かうラッシュとは反対方向なのに学生で一杯だ。途中に学校があるらしい。

7:55頃に発車すると狭軌専用の線路に入り、道路端の単線の軌道を進む。交換駅のたびに通勤客を満載したトラムとすれ違う。並行した道路のバスもいっぱいだ。

道路と分かれて専用軌道で住宅地の丘陵を越えてゆく。学生が途中で降りて行くと、再び道路端に行くようになり、家が少なくなると専用軌道になって原っぱの中の停留所に停まる。

溪谷沿いの集落では狭い旧道の併用軌道に入る。このあと森の中の峠を登ってゆく。登りきると鉄道の駅前を通り、突然アパート群が広がる。ちょっとした街だ。道路から右に曲がり、石畳の路地に入るとループ線があり8:27に終点Jablonec n.N. Tyrsovy sadyに到着。この頃にはみぞれは止んでいて、空が明るくなってきた。

折り返し8:32発で市内へ戻る。途中狭い旧道上の併用軌道区間の停留所に途中下車。30分ほど滞在し、ひなびた風景をカメラに収める。警笛が鳴り、ディーゼルエンジンの音が聞こえると崖の中腹をDCが走り抜けた。

9:30頃市内に戻り、ホテルをチェックアウトしてLiberec駅へ。またみぞれが降り始めている。寒い。持ってきたウインドブレーカーが役に立った。

10:30発の5407レに乗車する。その前に売店でホットコーヒーを買うと、やかんから紙カップにコーヒーを注ぐ。インスタントではなく、トルコ式の煮出しコーヒーだ。コーヒーの粉が下に沈んでいるので静かに飲む。これがうまい。

DCがレールバスのトレーラーを1両牽いていて、Turnovまでは昨日乗った路線に戻る。また山越えをするが、高度を上げると雪になった。11:19着。

乗り換えの5507レはDLがレールバスのトレーラーを3両連ねている。11:33に発車すると、いきなりバックを始めた。構内の外れで停まり、進行方



Novy Svellにて

向を変えた。そしてすぐに右へカーブし構内を外れて行く。そうです、配線上スイッチバックをしたのでした。

畑の中を右に左にゆっくり進みます。天候は回復していて太陽が顔を出しています。家がまばらな駅で列車交換。まるで時間が止まったように静かです。Libunでローカル線と交差し、Jicinでプラハ方面の路線を分けますが、接続の列車はなし。昨日乗り換えたOstromerに12:56に到着。

接続の5708レはなんとレールバスの単行。途中駅には学生がたくさん待っていて、デッキまで満員に。Chlumec nad Cidlinouに4分遅れの13:30に到着。乗り換えるポーランドのPoznanから来るR250の発車時間は過ぎていたがそちらも3分遅れの13:32に発車した。

車内は結構混雑していてコンパートメントの通路側にやっと座席を見つけた。分岐駅のVelky Osekが近づくと突然左に分岐し、単線の連絡線に入った。右に180度曲がると分岐駅の構内に入る。通過すると右手に来た線が分かれてゆく。三角線は無い。したがって連絡線に入らないとスイッチバックしな



Libunにて

ければならず、合理的な運転方法だ。

Nymburk hl.n.からも乗客が増えるが座席はもう埋まっている。朝の寒さはどこへ行ってしまったのか、とにかく暑い。畑の中を疾走していると、谷筋を降りて行くようになり、いつの間にかプラハの市街地へ入ってきた。

Praha hl.n.に12分遅れの14:57に到着。市内交通の切符を買って地下鉄をとバスを乗り継ぎ空港へ。しかし、119系統の接続バスに乗り込むと渋滞となり焦る。

並行する市電の終点が途中にあり、ループ線に入るため、道路を横切る場所が原因だった。乗り換え可能な乗車券なので、これならここまで市電に乗ればよかった。

出発2時間前の16時には何とか到着。



R250レ Chlumec nad Cidlinouにてチェックインをして、出国手続きを済ませます。お昼を食べていないので軽く済ませると値段が高いのには驚いた。もうここはチェコではない。

18:10発のAF4905便でパリへ。30分遅れの20:25に到着。23:25発いつもの夜行便AF278便に搭乗し、翌日の18:30に30分遅れで成田に到着した。[完]

